

周防大島町の話題



▲周防大島の景色を楽しみながら駆け抜ける参加者の皆さん

サイクリングで島を一周

5月15日、道の駅サザンセトとうわをスタート・ゴールに、サイクリングイベント「シマクル」が開催され、県内外から約300人の参加者がありました。

このイベントは順位やタイムを競うものではなく、参加者の皆さんは、景色やエイドステーション（水分や食べ物を補給できるようにコースの途中に設置されている施設）で周防大島の特産物を楽しみながら、駆け抜けていました。

ピクニック感覚で周防大島をぐるり

5月22日、片添ヶ浜オートキャンプ場をスタート・ゴールに、ピクニック感覚で走る「周防大島マラニック100」が初めて開催されました。

周防大島をぐるっと1周する100kmと70kmのコースに約400人の参加があり、参加者の皆さんは、瀬戸内海の美しい景色やエイドステーションでの周防大島ならではのおもてなしを堪能しながら走っていました。

「マラニック」とは、マラソンとピクニックを掛け合わせた造語で、シマクルと同様に順位やタイムを競うレースではなく、地域の自然やグルメを楽しむスポーツイベントです。



▲元気にスタートする参加者の皆さん



▲練習を行う「アロハ・フラ島高」の皆さん

アロハ・フラ島高活動開始

5月26日、周防大島高校の生徒有志で結成したフラチーム「アロハ・フラ島高」が、8月21日に福島県いわき市で開催されるフラガールズ甲子園を目指して活動を開始しました。

練習に参加したメンバーは、インストラクターの小林一恵さんと佐々木陽子さんから指導を受け、1つ1つの動きを確認しながら、フラを踊っていました。

メンバーは、2・3年生の11人。リーダーを務める3年生の山崎心結さんは、「地域の方々にも応援されて成り立っている」「日頃の感謝を忘れずに踊りたい」と思いを語りました。